

なくそう

ひろ
広めよう

さべつ ころろ
差別の心

かんしゃ ころろ
感謝の心

す と っ ぶ
STOP!

ころな さべつ
コロナ差別



茨城県教育委員会マスコットキャラクター
「ふれあちゃん」

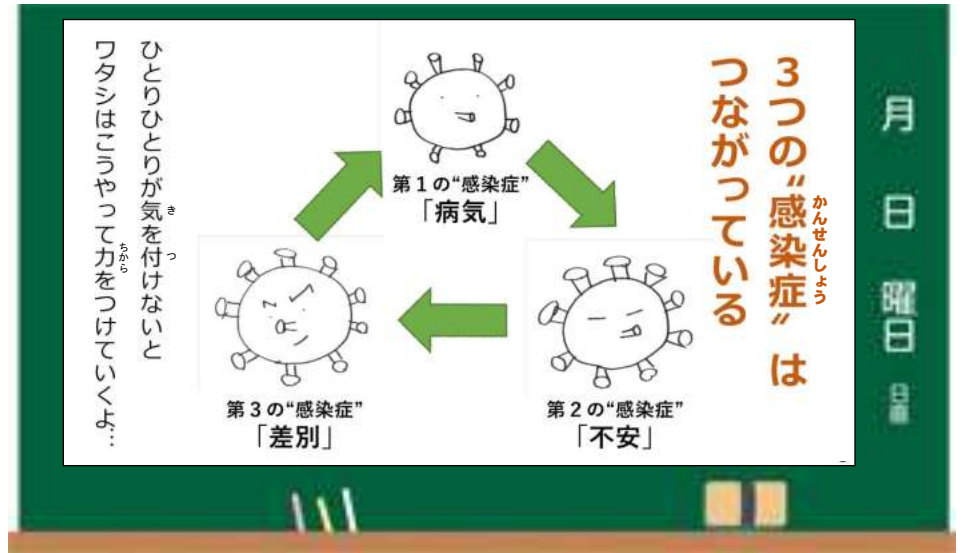


茨城県人権啓発キャラクター
「ココロちゃん」



茨城県教育委員会

しんがた ころろ
新型コロナウイルスには3つの顔があります



この感染症の怖さは、
「病気」が「不安」を呼び、
「不安」が「差別」を生み、
「差別」が更なる「病気」
の拡散につながる
ことです。

月 日 曜日

日本赤十字社HP「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~負のスパイラルを断ち切るために~」より引用

見えないウイルスへの不安から生じる差別や偏見を受け、悲しみ、苦しんでいる人たちがいます。



学校で友達が咳をしたら「コロナだ！」と大声で言っている人がいました。どうしたらよいですか？

その言葉を言われた友達はきっと悲しかったと思います。「自分が言われたらどう思う？」と声をかけてみましょう。勝手な判断で騒いではいけません。



友達の親が病院に勤めています。「コロナがうつるから、その友達に近づかない方がいいよ」と言っている人がいるのですが、どうしたらよいですか？

お医者さん、看護師さん等は、患者さんの命を救うために、感染対策を十分に行った上で一生懸命働いています。頑張っている人、その家族を、偏見の目で見ることなく、そういう方々に感謝し、応援することが大切です。



感染したけれど、元気になって登校してきた友達に「コロナがうつるから近寄るな」と心無い言葉をかける人がいます。どうしたらよいですか？

登校できたのはお医者さんが「治ったので、もう他の人へはうつらない」と言ってくれたからです。友達は何も悪くありません。感染したことで「何か言われてしまうのではないか」と不安に思っているかもしれません。やさしい言葉をかけてあげたいですね。



なぜこのような事が起きるのでしょうか。私たちはどうすればいいのでしょうか。



差別の心をもたないためには、正しい情報をもとに考えることが大切です。うわさ話やデマなどに振り回されず、相手の立場に立ち、思いやりをもって行動しましょう。

新型コロナウイルスの事で、いじめたり、仲間外れにしたりする事は、絶対にいけません。



もしも差別を受けたり、見かけたりしたら…



一人で悩んだり抱えこんだりせずに、友達やお家の方、学校の先生など近くの人に相談して、差別をなくすためにどう行動するのがよいか、一緒に考えていきましょう。

電話相談窓口【いじめ・体罰解消サポートセンター】

県央：029-221-5550 県北：0294-34-4652 鹿行：0291-33-6317

県南：029-823-6770 県西：0296-22-7830

(受付) 平日の午前9時～午後4時30分(火・木・金は午後6時30分まで延長)

※令和3年4月から変更の可能性がります。